

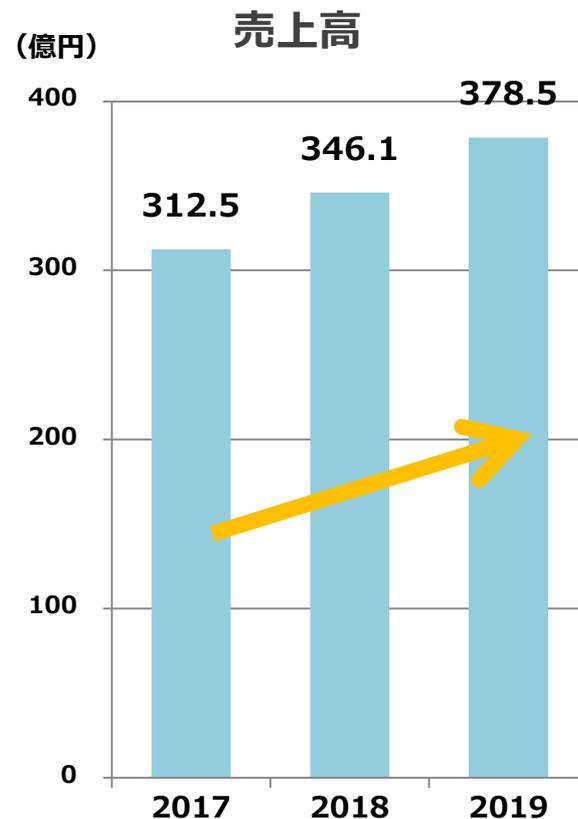
第47期 (2019年9月期)

決算補足資料

連結決算サマリ (売上高)

売上高については、各セグメントにおいて順調に推移し、
連結売上高で対前年同期比 32億円増 (+9.4%) となった。

	2018	2019		前年比 (増減率)
		実績	売上比	
売上高	346	378	100.0%	+32 (+9.4%)
営業利益	50	53	14.1%	+2 (+4.9%)
経常利益	51	53	14.2%	+2 (+4.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	40	10.7%	+3 (+9.4%)

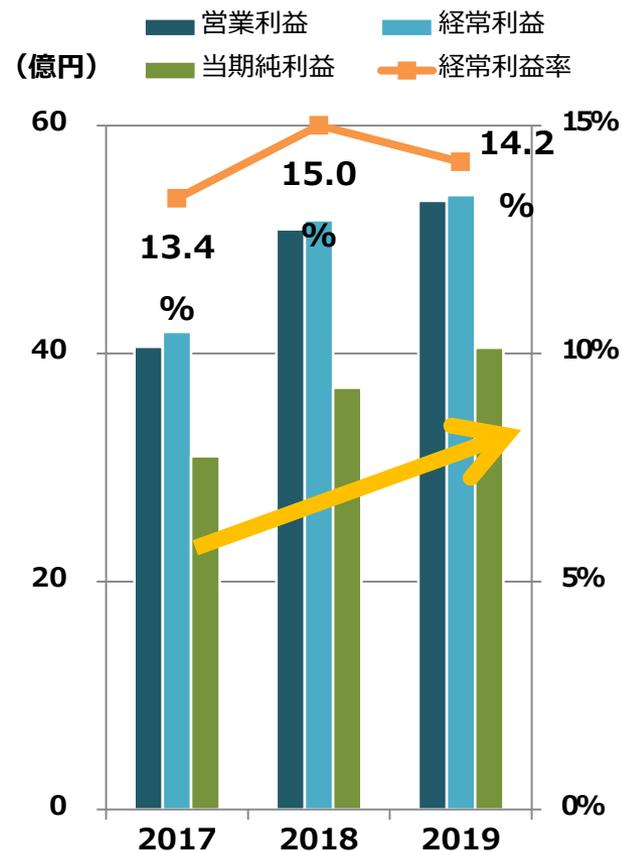


連結決算サマリ (利益推移)

各利益額は、前年同期比 営業利益は4.9%・経常利益は 4.1%増、
当期純利益は 9.4%増益 (釧路ハイミールの負ののれんの影響)。

(単位：億円)

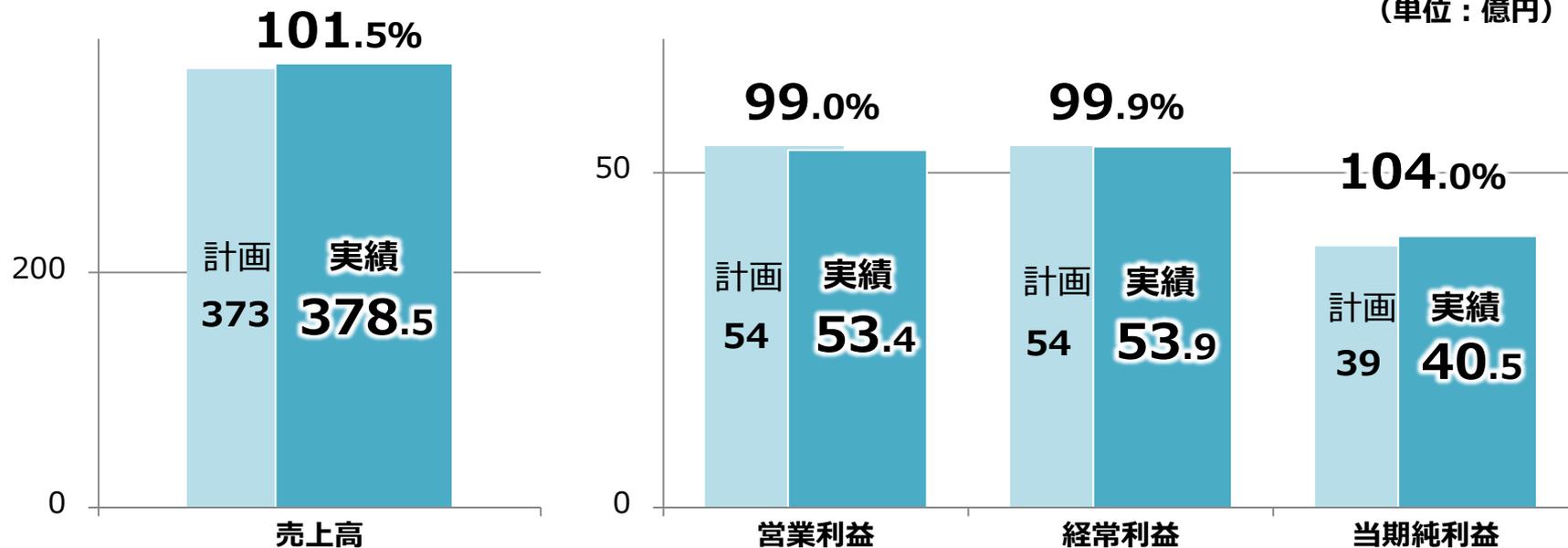
	2018	2019		前年比 (増減率)
		実績	売上比	
売上高	346	378	100.0%	+32 (+9.4%)
営業利益	50	53	14.1%	+2 (+4.9%)
経常利益	51	53	14.2%	+2 (+4.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	40	10.7%	+3 (+9.4%)



※当期純利益 =
親会社株主に帰属する当期純利益

業績予想との比較

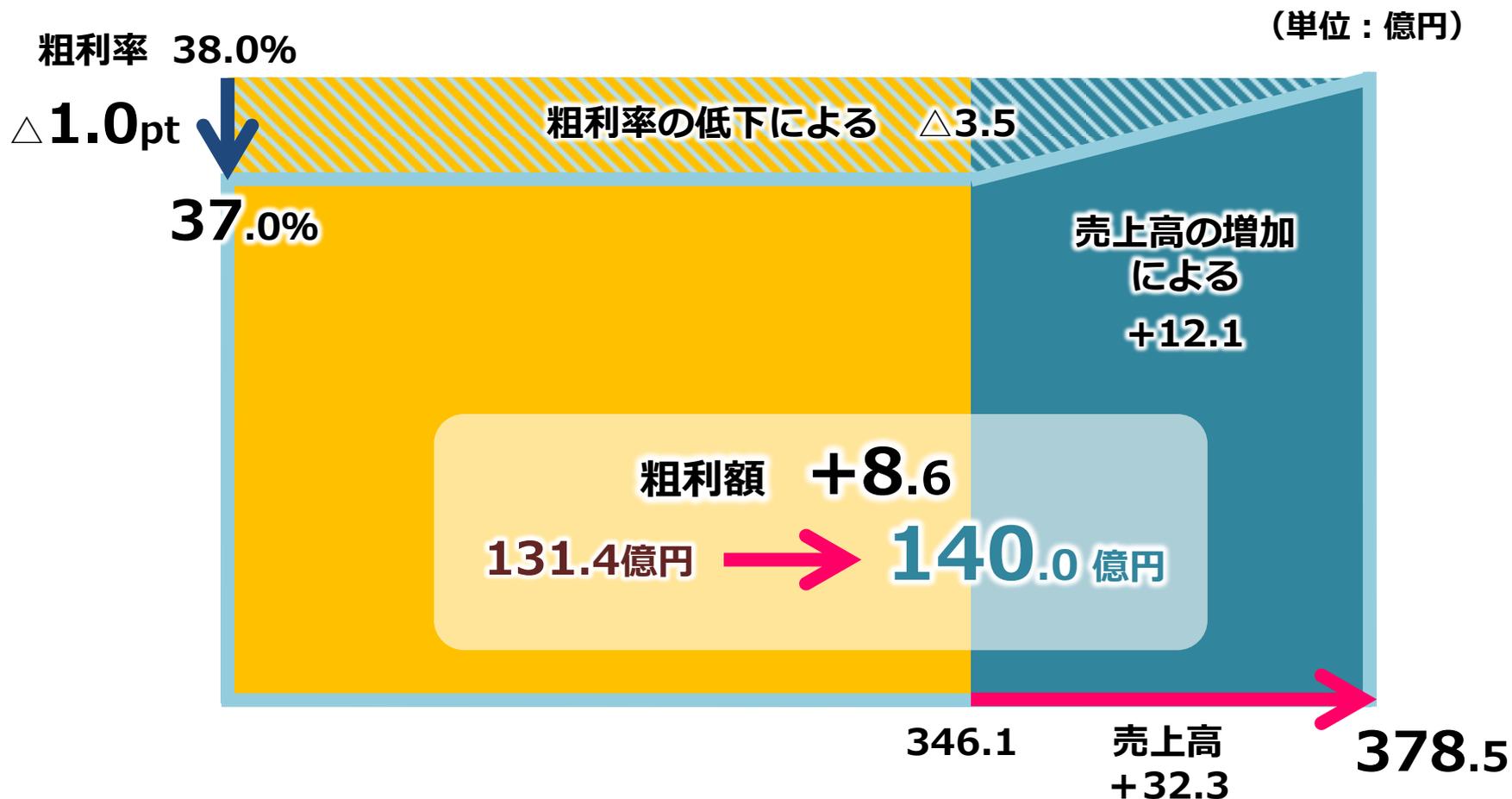
(単位：億円)



	2018 実績	2019		
		計画	実績	達成率
売上高	346	373	378	101.5%
営業利益	50	54	53	99.0%
経常利益	51	54	53	99.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	39	40	104.0%

粗利益の増減要因

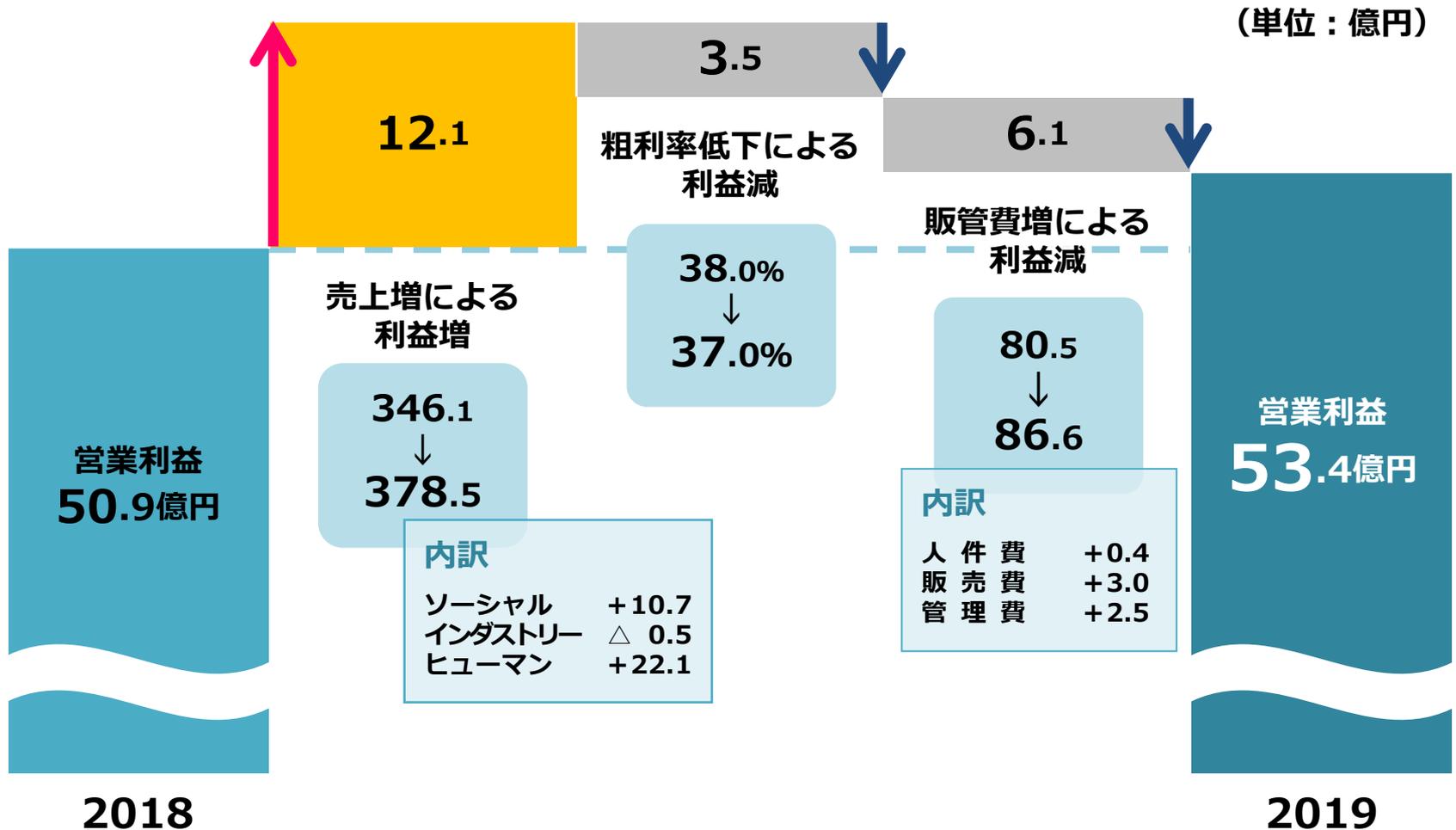
当期の粗利益は、売上高増により12.1億円増、粗利率の低下（38.0%→37.0%）により3.5億円減となり、トータルの連結ベースで8.6億円増の140.0億円となった。



営業利益の増減要因

【販管費増6.1億円の主な要因】

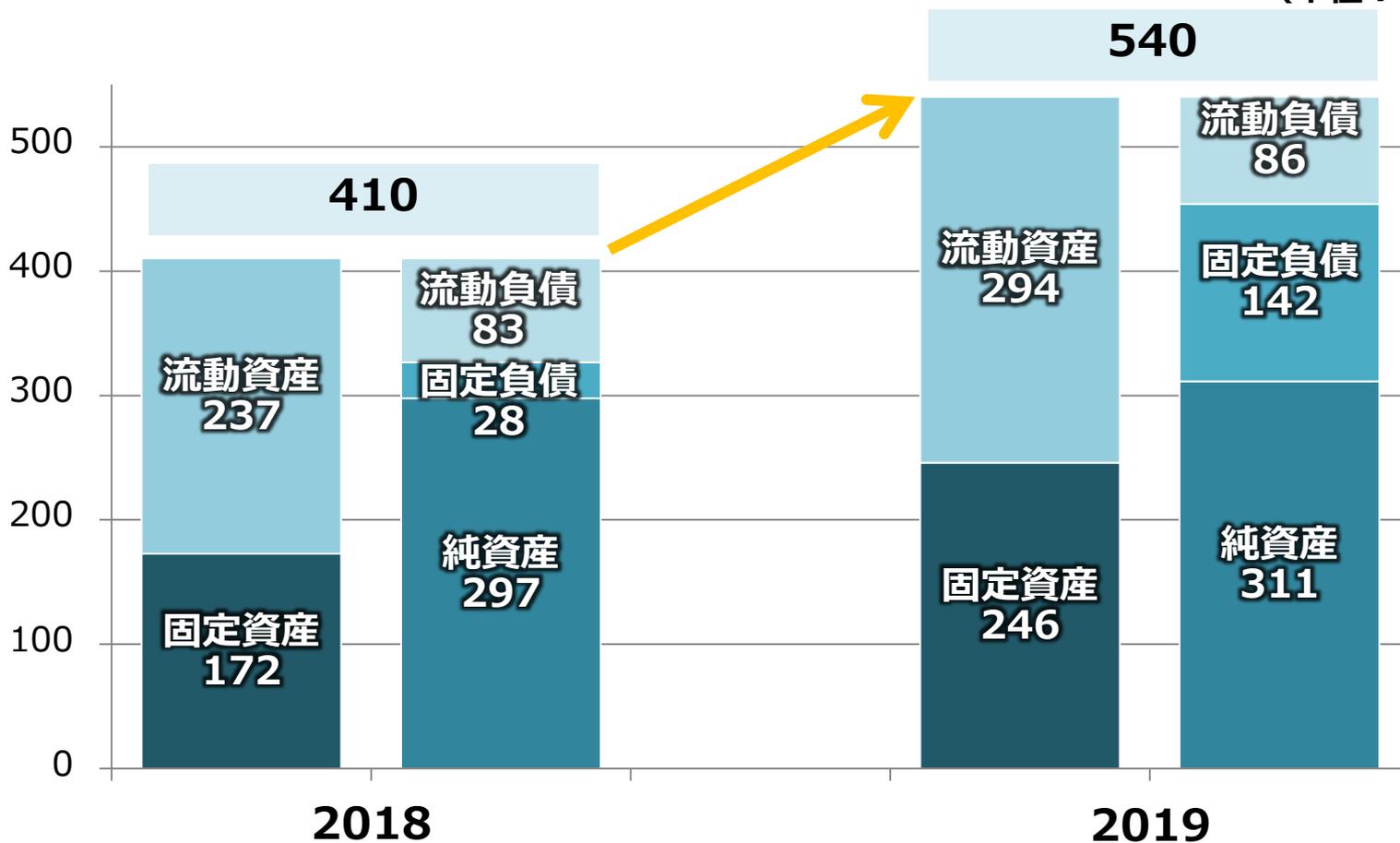
- ・ 売上増、運賃コスト上昇による運送費増（1億円）
- ・ M&A手数料等により管理費増（2.5億円）



貸借対照表（前期末比）

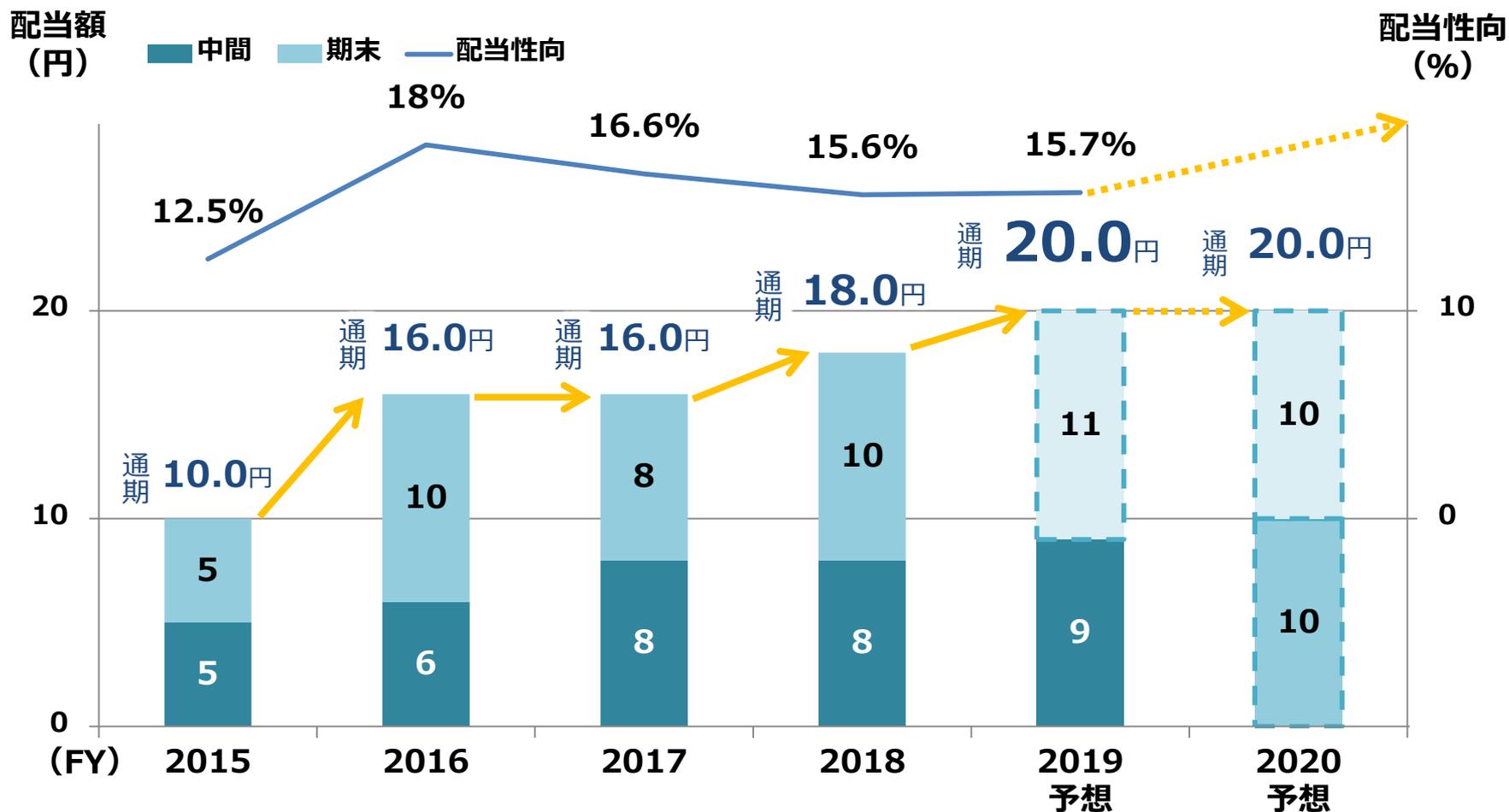
(資産)	流動資産	現金及び預金	33億円	在庫	8億円増
	固定資産	有形固定資産	47億円増		
(負債)	固定負債	新株予約権付社債	120億円増		

(単位：億円)



■ 株主還元方針 ■

2019年期末配当は、昨年比1円増配し11円とし、通期では前年比**2円増配**の予想とした。
2020年通期は、先行投資等により減益を予想しているが、配当は**同額の20円**を予想。

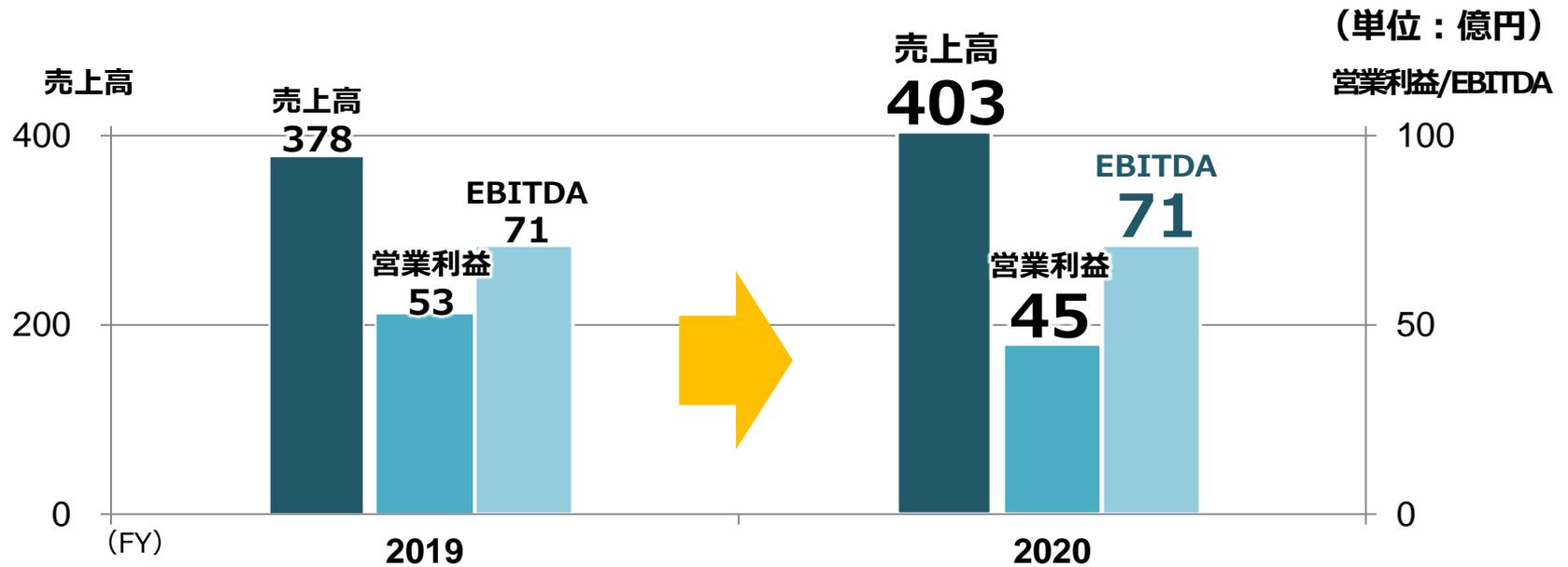


セグメント別サマリ

ソーシャルインフラ事業は、業績回復基調。
 ヒューマンインフラ事業は、大幅な増収増益。

(単位：億円)

		2018	2019	前期比 (増減率)	
ソーシャル インフラ事業	売上高	219	230	+ 10	(+ 4.9%)
	営業利益	37	38	+0.5	(+ 1.5%)
インダストリー インフラ事業	売上高	22	21	△0.5	(△ 2.3%)
	営業利益	4	3	△0.5	(△13.9%)
ヒューマン インフラ事業	売上高	103	126	+ 22	(+21.3%)
	営業利益	18	22	+ 3	(+16.6%)
その他の事業 (ヘルスケア事業)	売上高	-	-	-	(-%)
	営業利益	-	△ 0.1	△0.1	(-%)
消 去	営業利益	△9	△10	△0.5	(+ 5.4%)
計	売上高	346	378	+ 32	(+ 9.4%)
	営業利益	50	53	+ 2	(+ 4.9%)



	2019/9期 通期実績	2020/9期		
		2Q計画	通期計画	通期伸び率
売上高	378	205	403	+ 6.5%
EBITDA	71	33	71	+ 0.1%
営業利益	53	23	45	△15.8%
経常利益	53	23	45	△16.5%
当期(四半期)純利益	40	17	33	△18.7%

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却費

※当期(四半期)純利益 = 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

売上高

- 公共事業関係では防災・災害復旧需要が旺盛で**増収計画**
- BBS関係は新規設備の本格稼働前で**横ばい**

営業利益

- BBSの増産体制整備及び塗装工場新設等設備投資に伴う**償却負担増(10億円)**
- ヘルスケア事業立ち上げによる**先行投資(5億円)**以上により、**前期比約16%減益計画**

EBITDA 配当

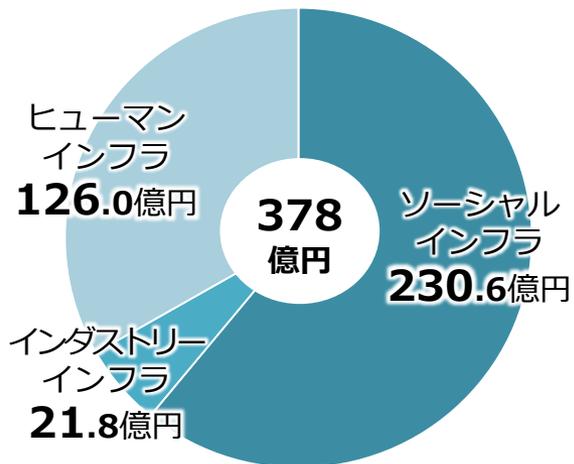
上記のとおり、MDKグループの「未来のための先行投資」が一時的に重なるが、EBITDA・通期配当は**横ばいを堅持**

その他

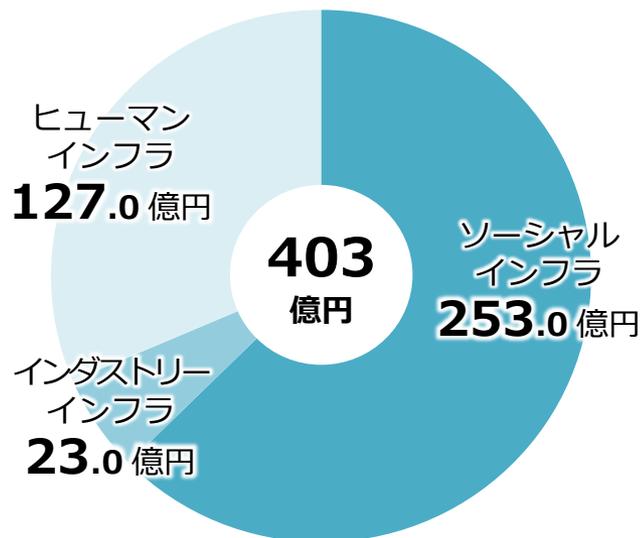
なお、今回計画には新規のM&Aによる業績向上は含まず、実行の際は**業績修正を予定**

業績予想（セグメント別）

2019実績



2020計画



(単位：億円)

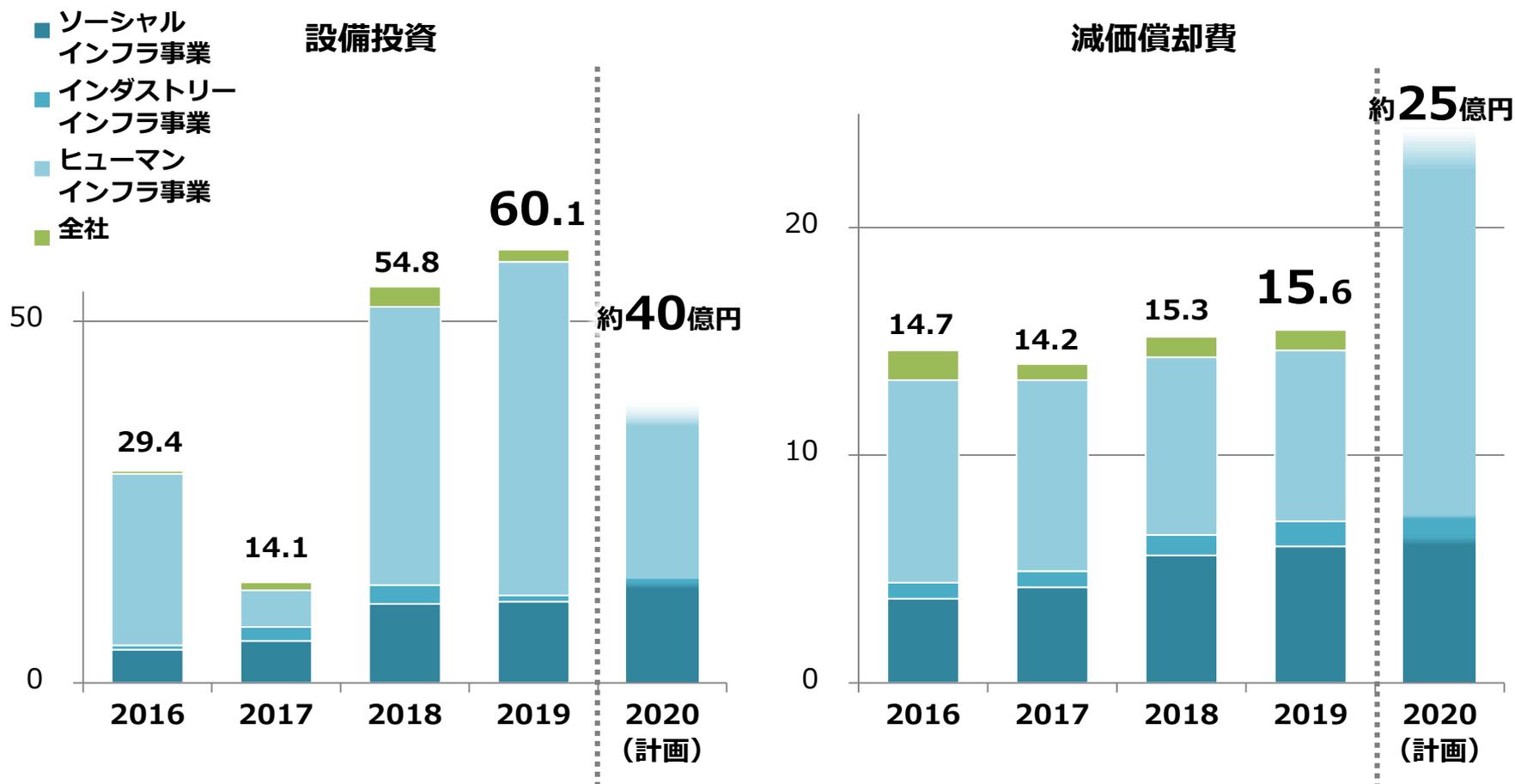
セグメント	2019/9期 通期実績	2020/9期	
		計画	対前期比
ソーシャルインフラ事業	230	253	+9.7%
インダストリーインフラ事業	21	23	+5.1%
ヒューマンインフラ事業	126	127	+0.8%
計	378	403	+6.5%

設備投資・減価償却費の推移

◎設備投資 ヒューマンインフラ事業の設備投資は一巡

◎減価償却費 2020/9期は、約10億円増加予想

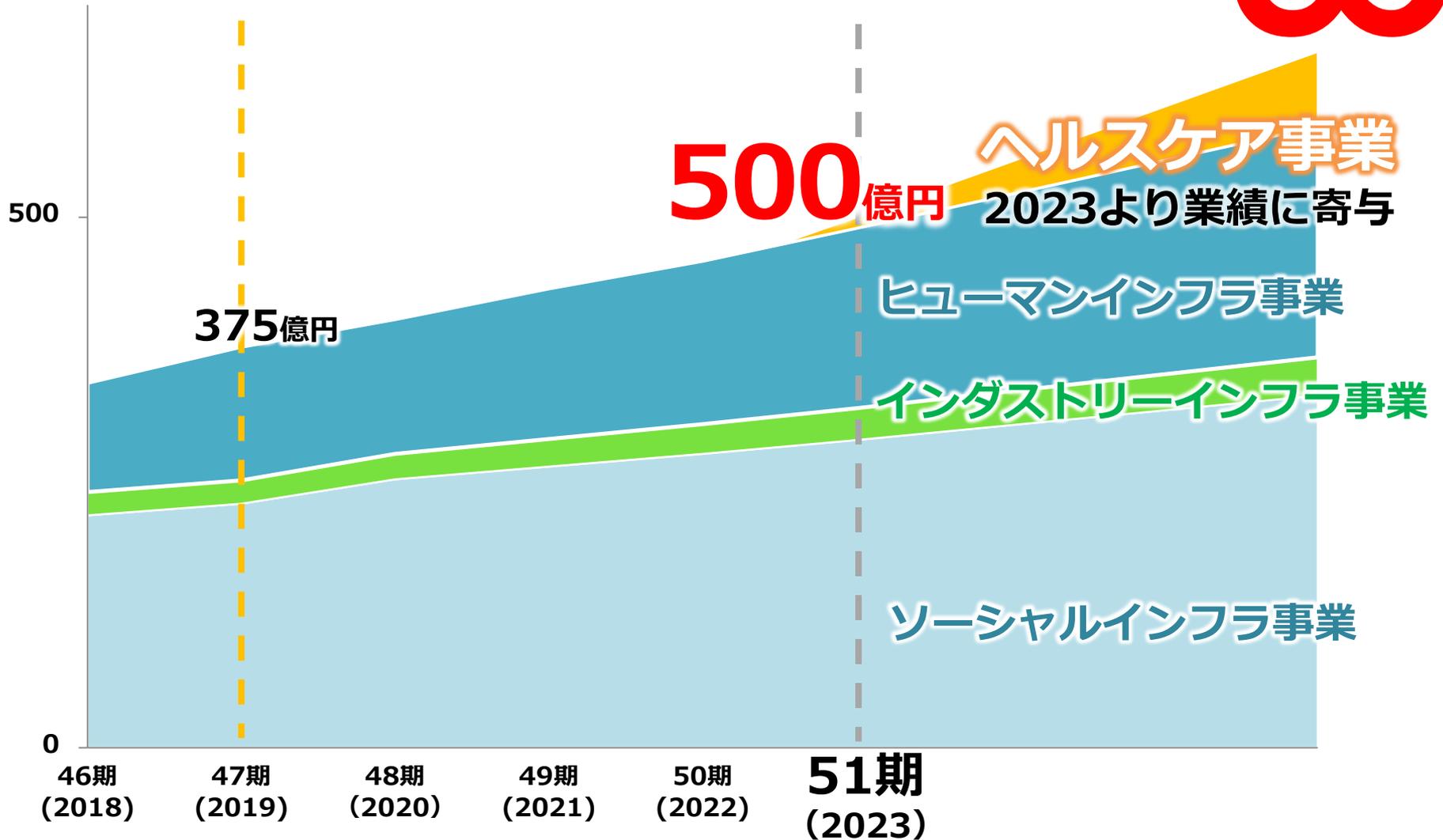
(単位：億円)



2020年9月期(第48期) ～2023年9月期(第51期)

- ① 既存事業の強化と**新規事業進出**
- ② 成長戦略としての**M&A活用**
- ③ 新たなマーケットを求めるための
グローバルネットワーク拡充

売上高



2年後には 設備投資・先行投資効果

- ① ソーシャルインフラ事業の業績向上(毎年5%程度増加)
- ② BBS設備投資効果(売上高43億円・営業利益11億円増加)
- ③ ヘルスケア事業の貢献

(第51期 売上25億円 営業利益4億円 目標)

(単位：億円)

	第47期 2019	第48期 2020	第49期 2021	第50期 2022	第51期 2023
売上高	378	403	426	462	500
E B I T D A	71	71	76	88	100
営業利益	53	45	50	67	80
経常利益	53	45	50	67	80
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	33	37	50	54

(単位：億円)

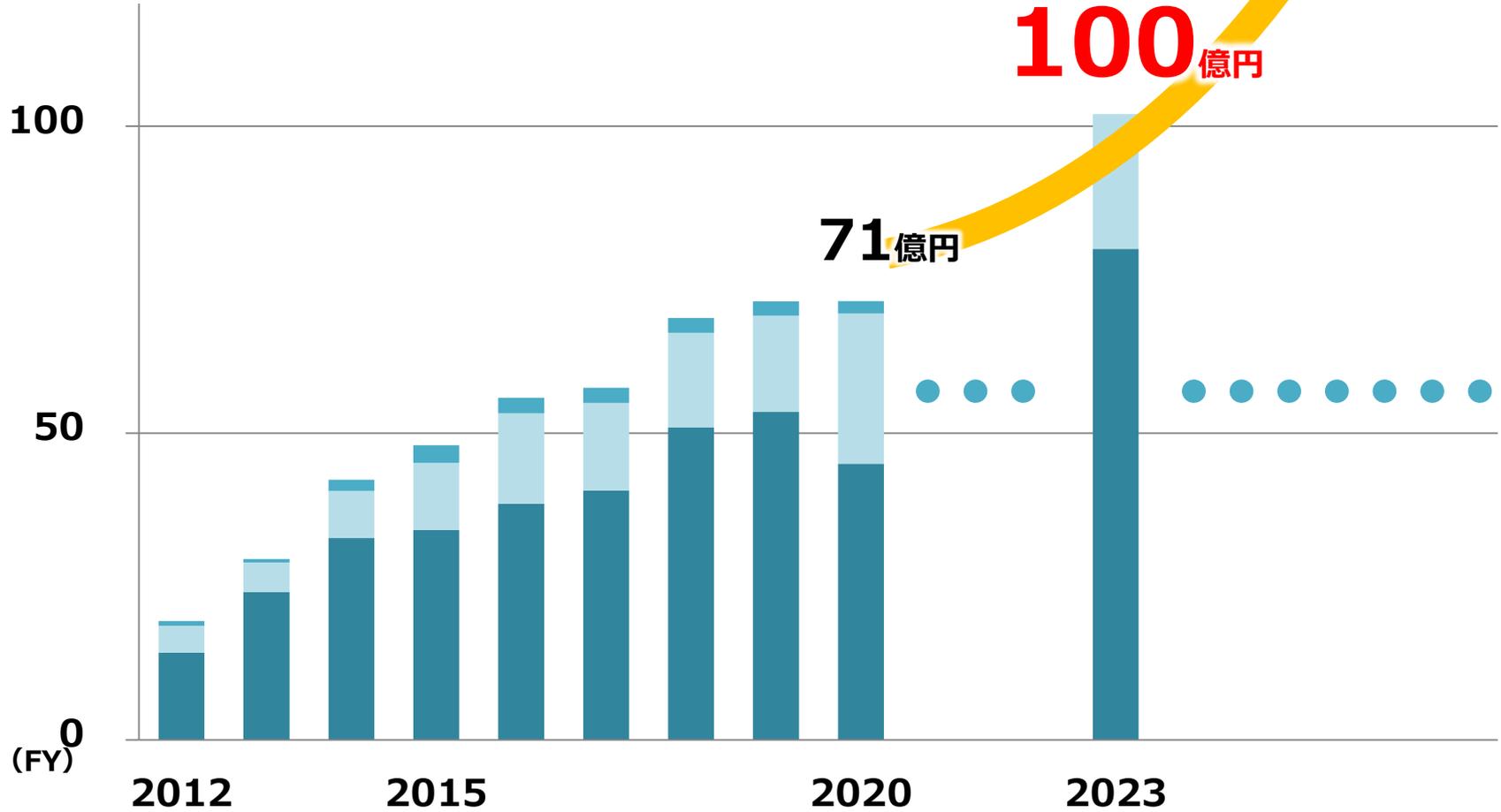
		2019 実績	2020 計画	~	2023 計画	2019実績比 増加額 (増加率)
ソーシャル インフラ事業	売上高	230	253		280	+ 49 (+21.4%)
	営業利益	38	44		50	+ 13 (+35.2%)
インダストリー インフラ事業	売上高	21	23		25	+ 3 (+14.3%)
	営業利益	3	4		5	+ 1 (+42.3%)
ヒューマン インフラ事業	売上高	126	127		170	+ 43 (+34.9%)
	営業利益	22	12		34	+ 11 (+54.1%)
その他の事業 (ヘルスケア事業)	売上高	-	-		25	+ 25 (-)
	営業利益	△0.1	△4		4	+ 4 (-)
消 去	営業利益	△10	△11		△13	△ 2 (+23.9%)
合 計	売上高	378	403		500	+141 (+32.1%)
	営業利益	53	45		80	+ 26 (+49.7%)

※上記には新規M & A案件に係る業績は含まれておりません。

グローバルビジョン∞ PART I (EBITDA推移)

(億円)

■ 営業利益 ■ 減価償却費 ■ のれん償却費



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

【本資料及び当社 I R に関するお問い合わせ先】

前田工織株式会社 業務企画部

TEL : 0776-51-9577 URL : <https://www.maedakosen.jp/mdk>